

ケンブリッジ英語検定を利用する大学一覧 表の見方

2022年度の一般選抜においてケンブリッジ英語検定を利用する大学の一覧です（11月9日現在、河合塾調べ）。

一覧ではケンブリッジ英語検定の利用方法について記載しています。（ケンブリッジ英語検定4技能CBT「リングスキル」が利用可能な場合は備考欄に記載しています）

掲載内容は新型コロナウイルス感染症による影響から今後変更される可能性もあります。最新の情報は必ず各大学の学生募集要項やホームページ等で確認してください。

【利用方法】

- 利用方法は下記の3つに分類しています。該当しない場合は、「その他」に分類しています。

分類		利用方法
出願要件		基準を満たすスコア・級を取得していることが出願の要件となるもの
合否判定利用	点数化	スコア・級など取得している成績に応じて、個別試験や大学入学共通テストの特定科目の得点に置き換える、満点とみなす、加算するなど点数化して活用するもの
	試験免除	基準を満たすスコア・級を取得していることで、個別試験や大学入学共通テストの特定科目の受験が免除されるもの

- 出願要件として利用する場合は「★」、合否判定に利用する場合において、英語資格・検定試験の成績提出が必須の場合は「●」、任意提出（英語資格・検定試験の成績が無くても受験は可能）の場合は「△」を付しています。
- 出願要件は英語資格・検定試験に関連するもののほかに学習成績の状況・卒業年度などの要件を満たすことが必要な場合や、他の要件で出願可能な場合もあります。

【利用対象試験・成績】

- 利用可能なスコアを記載しています。スコアは原則4技能のものを記載しています。「出願要件」「合否判定」の両方に利用される場合は、出願要件のスコアを記載しているほか、点数化する基準が複数段階にまたがる場合は、下限スコアを記載しています。スコアが未判明の場合やスコアの基準が示されていない場合には、「○」を付しています。
- 4技能のスコアとは別に各技能ごとの基準スコアを満たすことが必要な大学もありますが、本表では割愛しています。
- 大学によりオフィシャル・スコアに限定している場合や、スコア取得時期、同一の資格・検定試験のうち利用できる種類を限定している場合がありますが、本表では割愛しています。